

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE



In re Application of:)	
)	
Madoka MITSUOKA, et al.)	
)	Group Art Unit: To Be Assigned
Serial No.: To Be Assigned)	
)	
Filed: January 26, 2001)	Examiner: To Be Assigned
)	
For: DELIVERY MANAGEMENT)	
METHOD AND DEVICE, AND)	
DELIVERY INFORMATION)	
SERVICE METHOD)	

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. § 1.55**

*Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231*

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. § 1.55, Applicants submit herewith a copy of the following foreign application:

Japanese Application No.: 2000-231135, filed July 31, 2000.

It is respectfully requested that Applicants be given the benefit of the earlier foreign filing date, as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. § 119.

Respectfully submitted,
STAAS & HALSEY LLP

A handwritten signature in black ink, appearing to be "J. Halsey, Jr.", written over a horizontal line.

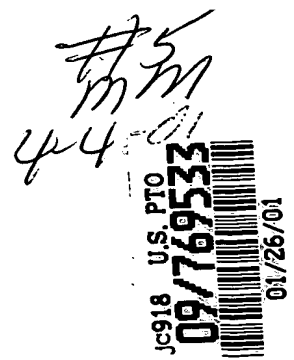
Dated: January 26, 2001

By: _____

James D. Halsey, Jr.
Registration No. 22,729

700 Eleventh Street, N.W.
Suite 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日

Date of Application:

2000年 7月31日

出願番号

Application Number:

特願2000-231135

出願人

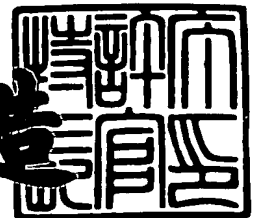
Applicant (s):

富士通株式会社

2000年12月 8日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3101619

【書類名】 特許願

【整理番号】 0095147

【提出日】 平成12年 7月31日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 17/00

【発明の名称】 配達管理方法及び装置並びに配送情報サービス方法

【請求項の数】 5

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中 4 丁目 1 番 1 号 富士通株式会社内

【氏名】 光岡 円

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中 4 丁目 1 番 1 号 富士通株式会社内

【氏名】 神田 陽治

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中 4 丁目 1 番 1 号 富士通株式会社内

【氏名】 宇山 政志

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中 4 丁目 1 番 1 号 富士通株式会社内

【氏名】 岩山 登

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中 4 丁目 1 番 1 号 富士通株式会社内

【氏名】 木島 裕二

【特許出願人】

【識別番号】 000005223

【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

【識別番号】 100094145

【弁理士】

【氏名又は名称】 小野 由己男

【連絡先】 0 6 - 3 5 5 - 5 3 5 5

【選任した代理人】

【識別番号】 100094167

【弁理士】

【氏名又は名称】 宮川 良夫

【選任した代理人】

【識別番号】 100106367

【弁理士】

【氏名又は名称】 稲積 朋子

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 020905

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9807456

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 配達管理方法及び装置並びに配送情報サービス方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

注文された商品の配達を管理する方法であって、
前記商品の配達の申込を前記商品の提供者から受け付け、
前記申込に申込 I D を付与し、
前記商品の配達先に、前記申込 I D を通知して配達条件の指定を促し、
前記配達先に配達される予定の商品及び前記申込 I D の一覧を、前記配達先に提供し、

前記申込 I D で特定される申込に対する配達条件の指定を、前記商品の注文よりも後に、前記配達先から受け付け、

同一の配達条件を指定された申込 I D に対応する商品と、指定された配達条件と、配達先とを、所定の運送業者に通知することにより配達を依頼する、
配達管理方法。

【請求項 2】

前記配達先に配達される予定の第 1 商品に第 1 配達条件が指定され、その後前記第 1 商品が配達される前に別の第 2 商品の配達申込を受け付けた場合、前記第 2 商品についての配達条件を第 1 配達条件と同一の条件に設定する、請求項 1 に記載の配達管理方法。

【請求項 3】

注文された商品の配達を管理する装置であって、
前記商品の配達の申込を受け付ける受付手段と、
前記申込に申込 I D を付与する付与手段と、
前記商品の配達先に、前記申込 I D を通知して配達条件の指定を促す促進手段と、

前記配達先に配達される予定の商品及び前記申込 I D の一覧を、前記配達先に提供する提供手段と、

前記申込 I D で特定される申込に対する配達条件の指定を、前記商品の注文よ

りも後に、前記配達先から受け付ける指定手段と、

同一の配達条件を指定された申込 I D に対応する商品と、指定された配達条件と、配達先とを、所定の運送業者に通知することにより配達を依頼する依頼手段と、

を備える配達管理装置。

【請求項 4】

複数の利用者端末と複数の配送業者端末及び複数の販売店端末がネットワークを介して接続された配送情報サービス装置に使用される配送情報サービス方法を実行するためのプログラムが記録された記録媒体であって、

販売店端末あるいは利用者端末を介して送信されてきた物品の配達依頼情報を受信する処理と、

当該受信した配達依頼情報を配達依頼情報記憶部に記憶する処理と、

当該受信した配達依頼情報の配達先と同一の配達先を有し、当該配達先への配送が完了していない配達依頼情報を前記配達依頼情報記憶部から抽出する処理と、

予め配達先に対応付けられて格納されている通知先アドレスの対応表から当該配達先の通知アドレスを取得して、当該受信した配達依頼情報と前記抽出した未配達の配達依頼情報とを配達希望日時等の希望条件の入力を促す情報とともに当該配達先の通知アドレスに通知する処理と、

当該配達先から返信されてきた配達希望条件に応じて、配達業者端末に対して当該配達先へ配達物品の配達を指示する情報を送信する処理と、

を実行するプログラムを記録した、コンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 5】

物品の配達依頼を受け取り、受け取った配達依頼を記憶装置に記憶するとともに、前記記憶装置を検索して当該配達依頼の配達先と同一の配達先が指定された配達依頼であって配達先への配送が完了していない配達依頼を抽出し、予め配達先と通知アドレスとが対応付けられて格納されたアドレステーブルを参照して配達先の通知アドレスを取得し、当該配達依頼と前記抽出した未配達の配達依頼とを当該配達先の通知アドレスに通知して、配達予定物品の受け取り可能日時など

の希望条件の入力を促し、応答されてきた配達希望条件に基づいて、希望条件に指定されたあるいは希望条件に応じた配送業者に対して当該配達先へ配達予定物品の配送指示を行う、配送情報サービス方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、購買される商品の配送に関し、さらに詳しくは、店頭、通信販売、オンラインショッピングにおいて購入される商品の配送に関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、商品の売買は、店頭だけでなく、通信販売及びインターネットなどのオンライン上でも日常的に行われている。通信販売やオンラインショッピングの増加に伴い、商品が運送業者により購入者や商品の送り先（以下、まとめて配達先という）へ配達される機会が増加している。

【0003】

一方、核家族化、共働きの増加、結婚年齢の上昇による一人暮らしの増加などの社会変化により、商品の配達先宅が不在の場合が多くなってきている。不在の場合、運送業者は再配達に出直さなければならず、配達先は不在配達連絡表を見て運送業者に再配達を依頼し、配達を家で待たなくてはならない。これは、運送業者と配達先双方にとって負担となり、また配達コストを上昇させる要因となっている。そこで、在宅時に確実に配達できるよう、配達申込者が、配達日や時間をきめ細かく指定できるサービスが提供されている。

【0004】

また、特開平10-162065号公報には、宅配業者が受取人のスケジュール情報を参照し、配達予定日時を決定する技術が記載されている。特開平10-269447号公報には、購入商品の宅配に関する技術が記載されている。この技術を用いれば、購入者が、複数の配送サービス候補から希望する配送サービスを、商品購入時に選択することができる。

【0005】

さらに、特開平5-165847号公報には、不在データベースを構築し、このデータベースをもとに配達先が在宅である日時の予測を可能にする技術が記載されている。不在データベースは、不在時に配達がなされた場合に、帰宅した配達先ユーザが、配達業者が置いていった不在配達連絡票を見て配達業者に電話して希望する配達日時を知らせることにより、構築される。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

前述した先行技術は、在宅時に配達できる確率を増やしている点である程度の効果を上げているものの、下記のような問題点を解決していない。

【0007】

第1に、1人のユーザが複数の売り手から商品を購入した場合、売り手毎に異なる運送業者が利用されたり、同じ運送業者であってもばらばらの日時に配達が行われる。そのため、商品ごとに送料が発生し、送料の負担が増大している。また例えば、複数の運送業者が配達に訪れるため、その度に対応しなければならず、煩わしい。

【0008】

第2に、配達申し込み時に配達日時を指定しても、その後の予定の変更などで配達日時を変更したい場合が生じる。このような場合、電話で変更を依頼しようとしても、営業時間外などで連絡が取れない場合もあり、変更が難しかったり、手間がかかったりする。例えば、休日にまとめて複数の商品を配達してもらおうと予定してその日に配達日時を指定していた場合、複数の業者と連絡しなければならない。一方、他人に商品を送る場合、あらかじめ先方の都合を聞いてから配達日時を指定することは、面倒であるとともにギフトの興をそぐことにもつながる。

【0009】

第3に、同居者がいる利用者であれば、自分が受け取らなくても家族の誰かが受け取ればよいのだが、配達日時の指定の際に家族の予定までいちいち調べることは面倒である。結局、家族のそれぞれがばらばらの配達日時を指定し、受け取りの手間を全体として増大させる結果を招いている。

【 0 0 1 0 】

第 4 に、商品を注文するとともに、商品代金の支払いまで済ませているにもかかわらず、販売業者の在庫切れや入荷待ちなどのためになかなか商品が注文者の手元に届かない場合がある。この場合、代金支払時期と、商品取得時期とに差ができ、注文者にとって不満となっている。

【 0 0 1 1 】

本発明は、前記の問題を解決するために、効率の良い配達を行い、配達先及び運送業者双方の負担を軽減することを目的とする。

【 0 0 1 2 】

【課題を解決するための手段】

本発明は、従来の販売者毎あるいは商品提供者毎、さらには、配送業者毎に独立して処理されていた配送情報を統合して処理することを可能にする。これにより、利用者は、配達されてくる物品を事前に知ることができるとともに、自己の都合や好みに合わせて物品の受領方法を指定できるサービスを享受可能となる。配送業者は、配達先不在などによる配達ロスが減少し、さらには従来同一の配達先であるにも関わらずバラバラ配送されていた物品を取りまとめて配達することが可能となり、配送業者全体の配送業務の効率化を可能とするサービスを享受可能となる。

【 0 0 1 3 】

すなわち、前記課題を解決するために、本願第 1 発明は、注文された商品の配達を管理する方法であって、

- A ; 前記商品の配達の申込を前記商品の提供者から受け付け、
- B ; 前記申込に申込 I D を付与し、
- C ; 前記商品の配達先に、前記申込 I D を通知して配達条件の指定を促し、
- D ; 前記配達先に配達される予定の商品及び前記申込 I D の一覧を、前記配達先に提供し、
- E ; 前記申込 I D で特定される申込に対する配達条件の指定を、前記商品の注文よりも後に、前記配達先から受け付け、
- F ; 同一の配達条件を指定された申込 I D に対応する商品と、指定された配達

条件と、配達先とを、所定の運送業者に通知することにより配達を依頼する、
配達管理方法を提供する。

【0014】

例えば、ユーザAがオンライン上でX会社から商品Qを購入し、配達先として自分自身を指定した場合を考える。X会社は、所定の管理サーバに対し、ユーザAへの配達を申し込む。この申込を受け取った管理サーバは、ユーザAに配達条件を指定してもらうために、配達条件入力フォームが提供されているウェブページのURLを電子メールで通知する。

【0015】

ユーザAがそのウェブページにアクセスすると、自分宛に配達される予定の商品リストが表示され、それぞれに配達条件を入力できる。ここで、配達条件とは、配達日時、配達場所、配達サービス種別、運送業者などである。このウェブページ上で、配達予定の商品についての入荷状況を、併せて通知するようにしても良い。また、このウェブページ上で、配達条件を既に指定した商品についての配達状況を通知しても良い。

【0016】

配達条件は、運送業者に通知され、運送業者は配達条件に従って、通知された配達先に商品を配達する。

この方法を用いれば、配達先は、いつでも都合の良いときを指定して荷物を受け取ることができ、しかも複数の荷物を同時にまとめて受け取ることができる。もちろん、商品によって配達条件を変えることもできる。運送業者にとっても、荷物をまとめて配達できるので、手間とコストの削減につながる。さらに、管理サーバの提供者も利益を得ることができる。例えば、運送業者は、削減されたコストの一部を配達料金に反映させ、残りを管理サーバの提供者に支払う。

【0017】

本願第2発明は、前記第1発明において、前記配達先が前記商品の注文者である場合、前記申込IDで特定される商品が購入されたことを、前記申込IDで特定される申込に対する前記配達条件が指定された後に前記商品の提供者に通知する、配達管理方法を提供する。

【 0 0 1 8 】

商品の注文と同時に代金の決済処理を行うのではなく、配達条件を指定された後に決済処理を行う。ユーザにとっては、カードの引き落としが済んでいるのに商品が手元に届いていない、といった事態が改善され、商品が手元に届く時期と商品の代金を支払う時期との差が短くなる。

【 0 0 1 9 】

本願第 3 発明は、注文された商品の配達を管理する装置であって、受付手段、付与手段、促進手段、提供手段、指定手段及び依頼手段を備える配達管理装置を提供する。

【 0 0 2 0 】

受付手段は商品の配達の申込を受け付ける。付与手段は、前記申込に申込 I D を付与する。促進手段は、前記商品の配達先に、前記申込 I D を通知して配達条件の指定を促す。提供手段は、前記配達先に配達される予定の商品及び前記申込 I D の一覧を、前記配達先に提供する。指定手段は、前記申込 I D で特定される申込に対する配達条件の指定を、前記商品の注文よりも後に、前記配達先から受け付ける。依頼手段は、同一の配達条件を指定された申込 I D に対応する商品と、指定された配達条件と、配達先とを、所定の運送業者に通知することにより配達を依頼する。

【 0 0 2 1 】

本発明の装置は、前述の方法を実行するためのサーバに相当する。

本願第 4 発明は、複数の利用者端末と複数の配送業者端末及び複数の販売店端末がネットワークを介して接続された配送情報サービス装置に使用される配送情報サービス方法を実行するためのプログラムが記録された記録媒体を提供する。このプログラムは、下記 A ～ E の処理を実行する。

A ; 販売店端末あるいは利用者端末を介して送信されてきた物品の配達依頼情報を受信する処理、

B ; 当該受信した配達依頼情報を配達依頼情報記憶部に記憶する処理、

C ; 当該受信した配達依頼情報の配達先と同一の配達先を有し、当該配達先への配送が完了していない配達依頼情報を前記配達依頼情報記憶部から抽出する処理

D ; 予め配達先に対応付けられて格納されている通知先アドレスの対応表から当該配達先の通知アドレスを取得して、当該受信した配達依頼情報と前記抽出した未配達 of 配達依頼情報とを配達希望日時等の希望条件の入力を促す情報とともに当該配達先の通知アドレスに通知する処理、

E ; 当該配達先から返信されてきた配達希望条件に応じて、配達業者端末に対して当該配達先へ配達物品 of 配達を指示する情報を送信する処理。

【 0 0 2 2 】

本願第 5 発明は、

A ; 物品 of 配達依頼を受け取り、受け取った配達依頼を記憶装置に記憶するとともに、前記記憶装置を検索して当該配達依頼 of 配達先と同一 of 配達先が指定された配達依頼であって配達先への配達が完了していない配達依頼を抽出し、

B ; 予め配達先と通知アドレスとが対応付けられて格納されたアドレステーブルを参照して配達先 of 通知アドレスを取得し、

C ; 当該配達依頼と前記抽出した未配達 of 配達依頼とを当該配達先 of 通知アドレスに通知して、配達予定物品 of 受け取り可能日時などの希望条件の入力を促し、

D ; 応答されてきた配達希望条件に基づいて、希望条件に指定されたあるいは希望条件に応じた配送業者に対して当該配達先へ配達予定物品 of 配送指示を行う、

配送情報サービス方法を提供する。

【 0 0 2 3 】

【発明 of 実施 of 形態】

<発明 of 概要>

本発明にかかる配達管理システムでは、同一配達先に配達される商品は、まとめて配達することが可能である。ユーザは、配達を申し込んだ後で配達日時を指定したり、好みの宅配業者を選んで配達してもらうことができる。また、同一世帯に配達される商品をまとめて配達することも可能である。他人に贈り物を贈る場合は、贈り主が贈り物を購入して配達を申し込んだ後で贈り先が都合 of 良い配達日時を指定できる。贈り先は、贈られることが前もって分かってしまい、興がそがれることがない。

【 0 0 2 4 】

< 第 1 実施形態例 >

(1) 構成

図 1 は、本発明の第 1 実施形態例にかかる配達管理システムの全体構成である。本実施形態例にかかる配達管理システムは、販売業者クライアント 1、運送業者クライアント 2 及び配達先クライアント 3 と管理サーバ 4 とを、HTTP プロトコルに準拠したネットワーク（図示せず）で接続することにより構成されている。ここで、販売業者とは、商品の提供者を意味し、商品の製造業者も含む。

【 0 0 2 5 】

管理サーバ 4 は、HTTP サーバ 5 と電子メールサーバ 6 とを有している。HTTP サーバ 5 と電子メールサーバ 6 とは、1 つのコンピュータ上になくてもよく、それぞれ独立したコンピュータ上で動作していても良い。HTTP サーバ 5 は、クライアントからの接続を受け付けるフロントエンドとして機能する。

【 0 0 2 6 】

HTTP サーバ 5 は、具体的には、クライアントからのリクエストの種類に応じ、配達申込受付部 5 1、配達条件受付部 5 2、配達商品一覧表示部 5 3、入荷状況受信部 5 4 及び配達状況受信部 5 5 で示される CGI プログラム群を起動する。また、HTTP サーバ 5 は、前記 CGI プログラムにより、配達情報が蓄積された配達情報 DB 8 及び配達先の個人情報が蓄積されたユーザ DB 7 を管理する。さらに、HTTP サーバ 5 は、配達申込送信部 5 6 及び配達依頼送信部 5 7 で示される CGI プログラムを起動させる。これらのプログラムは、電子メールサーバ 6 にアクセスし、運送業者クライアント 2 や配達先に電子メールを送信する。

【 0 0 2 7 】

各クライアント、すなわち販売業者クライアント 1、運送業者クライアント 2 及び配達先クライアント 3 は、管理サーバ 4 にアクセスするための機能を備えたコンピュータである。WWW ブラウザ機能を備えた PC や携帯電話を、クライアントの例として挙げることができる。また、それぞれのクライアントは電子メールの受信機能を有している。

【 0 0 2 8 】

(2) データベース

(2 - 1) 配達情報DB

図 2 は、配達情報DB 8 に蓄積される情報を示す概念説明図である。ここで、「配達先ID」はこのシステムにおいて配達先に割り振られるIDである。「依頼元」には配達の依頼者の氏名が記述される。配達先と依頼元とは、同一でも異なっても良い。本実施形態例では、説明を容易にするために、両者が同じ場合について説明する。「販売者」は、配達商品の出荷元となる配達の申込者である。「配達品」には配達される商品が記述される。

【 0 0 2 9 】

また、このDBには、「配達日」、「配達場所」、「運送業者」のフィールドが設けられている。これらのフィールドは、配達先から配達条件の指定が行われるまでは空白となっている。

【 0 0 3 0 】

「申込ID」とは、前述の情報の一組にシステムが割りあてた識別情報である。「入荷状況」及び「配達状況」は、それぞれ商品の販売業者及び運送業者により入力される。

【 0 0 3 1 】

(2 - 2) ユーザDB

図 3 は、ユーザDB 7 に蓄積される情報を示す概念説明図である。このDBには、「ユーザID」、配達先の「名前」、「配達場所」、「住所」、「メールアドレス」及び「電話番号」が蓄積されている。ユーザIDごとに、複数の配達場所を登録しておくこともでき、住所や電話番号を配達場所ごとに設定できる。商品の配達先または依頼元となっているユーザは、本システムの利用に先立ち、あらかじめユーザDB 7 にユーザ登録されている。

【 0 0 3 2 】

(3) 処理の流れ

(3 - 1) 配達受付処理

図 4 は、HTTPサーバ 5 が行う配達受付処理の流れを示す説明図である。

【 0 0 3 3 】

販売業者は、商品の配達を運送業者に依頼しようとする場合、まずWWWブラウザでHTTPサーバ5にアクセスし、配達を申し込む（＃1）。この申込は、配達商品に関する所定の情報を入力することにより行う（後述する図9参照）。

【 0 0 3 4 】

HTTPサーバ5は、入力内容を受け取り、配達申込受付部51のCGIプログラムを起動する（＃2）。

配達申込受付部51は、入力内容に基づいて、図5に示す配達商品情報を作成し、配達情報DB8に配達商品情報を書き込む（＃3）。図示するように、配達商品情報には、配達先のユーザID（以下、配達先IDという）、依頼元のユーザID（以下、依頼元IDという）、配達元、配達品及び申込IDが含まれている。

【 0 0 3 5 】

さらに、配達申込受付部51は、配達申込送信部56のCGIプログラムを呼び出し、配達商品情報を渡す（＃4）。配達申込送信部56は、ユーザDB7にアクセスし、配達先IDをキーとして、配達先のメールアドレスを検索する（＃5）。

【 0 0 3 6 】

配達申込送信部56は、電子メールサーバ6にアクセスし、配達先メールアドレスへ、配達通知を送信する（＃6、＃7）。この通知には、配達に関する所定の情報が掲載されたウェブページのURLが含まれている。配達先には、商品の配達申込があった旨の電子メールが送信される（後述する図10参照）。

【 0 0 3 7 】

（3-2）入荷状況・配達状況の登録処理

図6（a）は、HTTPサーバ5が行う入荷状況登録処理、（b）は、HTTPサーバ5が行う配達状況の登録処理の流れを示す説明図である。これらの処理では、販売業者及び運送業者が、それぞれ入荷状況及び配達状況を、配達情報DB8に登録する。入荷状況登録処理と配達状況の登録処理とは、登録される情報が入荷状況か配達状況かの違いであることを除いて同じであるので、以下では入

荷状況登録処理について説明する。

【0038】

販売業者クライアント1が管理サーバ4へアクセスすると、認証処理が行われる(#11、#21)。認証されると、販売業者クライアント1は入荷状況を送信する(#12、#22)。この入荷状況には、申込IDが含まれている。これを受信したHTTPサーバ5は、入荷状況受信部54のCGIプログラムを起動する(#13、#23)。入荷状況受信部54は、配達情報DB8にアクセスし、申込IDをキーとして、該当の商品の入荷状況のフィールドを更新する(#14、#24)。

【0039】

(3-3) 配達商品一覧の通知処理

図7は、HTTPサーバ5が行う配達商品一覧の通知処理の流れを示す説明図である。配達先が、電子メールで通知されたURLにWWWブラウザでアクセスすると(#31)、HTTPサーバ5は配達先の認証を行う。認証する場合、配達商品一覧表示部53のCGIプログラムが起動される(#32)。

【0040】

配達商品一覧表示部53は、配達情報DB8にアクセスし、配達先IDをキーとして、前記配達先に配達される予定の配達商品の一覧を取得する(#33)。さらに、配達商品一覧表示部53は、取得した情報をHTML形式にフォーマットし(#34)、配達先に提供する(#35)。配達先では、WWWブラウザが配達商品の一覧フォームを表示する(後述する図11参照)。この配達商品の一覧表示フォームには、次に述べる配達条件の指定を入力することができる(後述する図12参照)。

【0041】

(3-4) 配達条件指定処理

図8は、HTTPサーバ5が行う配達条件指定処理の流れを示す説明図である。

【0042】

前記フォームに配達先が配達条件を入力してHTTPサーバ5に送信すると(

4 1)、H T T Pサーバ5は、配達条件受付部52のC G Iプログラムを呼び出す(# 4 2)。配達条件とは、配達日、配達場所、配達業者などであり、これらの項目は配達情報D B 8内の項目と対応している。配達条件の指定は、配達先にとって都合の良い日時などが明らかになった時点で行えばよく、配達の申込通知を受け取ってすぐ、あるいは配達商品の一覧を参照してすぐに行う必要はない。

【 0 0 4 3 】

配達条件受付部52は、配達情報D B 8にアクセスし、受け取った配達条件を書き込む(# 4 3)。また、配達条件受付部52は、配達依頼送信部57のプログラムを呼び出し、配達条件を渡す(# 4 4)。配達依頼送信部57は、ユーザD B 7にアクセスし、配達先I Dをキーとして、配達先の氏名、住所、電話番号などの配達先情報を取得する(# 4 5)。次いで、配達依頼送信部57は、電子メールサーバ6にアクセスし、配達条件と配達先情報とを含む配達依頼の電子メールを、運送業者クライアント2に送信する(# 4 6)。

【 0 0 4 4 】

なお、前記配達条件の指定を、半自動化することが可能である。例えば、ある配達商品Aに対して配達条件Xが設定され、その後商品Aの配達が行われる前に、また別の商品Bの配達依頼が発生した場合を想定する。この時、配達条件Xに従えば、配達先が受け取り可能であることが保証されていると言えるので、配達先に配達条件の問い合わせを行わずに、商品Aに設定されている配達条件を自動的に商品Bの配達条件に設定してもよい。この際、利用者に、配達予定部に配達される物品が追加されたことを知らせるようにしてもよい。これにより、未配達物品が存在している間は、その後新たに発生した配達物品を自動的に取りまとめて配達してくれるため、利用者は配達物品が発生する度に配達条件の設定を行うという手間が省け、配達業者も配達先の回答遅れあるいは回答待ちによる配達物品の小分け配達等が減少し、可能な限り配達物品を取りまとめて配送することが可能となり、より配達業務の効率化が図れる。また、前述の例とは逆に、後に設定された商品Bの配達条件Yの方が、配達先の利用者の最新の希望条件を表しているとも考えられる。この場合、まだ配達されていない商品Aの配達条件Xを新

たに発生した商品Bに対する配達条件Yに自動的に変更するようにしてもよい。あるいは、商品Bの配達条件が指定された時に、異なる配達条件が指定された未配達物品があることを利用者に通知して当該配達物品の配達条件も変更してよいかどうかの確認を行ってから変更するようにしてもよい。これにより、配達条件設定後に発生した利用者の状況の変化を自動的に配達条件に反映することができ、利用者は配達条件の変更の手間が省け、配達業者も配達先の利用者の状況変化による配送ロスを軽減することが可能となる。

【0045】

以上の処理により、商品が注文された後で、変動する配達先のスケジュールに応じた配達日時を指定して配達してもらうことができる。しかも、複数の配達物をまとめて受け取ることができるので、運送業者は手間を削減して送料を低く設定することができ、送料及び受け取りの手間が、それぞれ減少される。さらに、管理サーバ4の提供者は、減額された送料の一部を手数料として徴収することにより、利益を得ることができる。

【0046】

(4) 画面例

図9は、販売業者が入力する配達申込の入力画面例である。本例では、この画面はウェブページ上で提供される。配達先IDと依頼元IDとは同じ場合もあれば、異なる場合もある。例えば、商品がギフトの場合は両者は異なる。

【0047】

図10は、配達先への配達申込の通知の例である。配達条件を入力するためのウェブページのURLが記載されている。また、そのほかに、配達商品や販売業者名を含ませておくことが好ましい。

【0048】

図11は、配達商品一覧の表示例である。この画面は、本例ではウェブページ上で提供される。配達日、配達場所、配達業者を、この画面上で設定及び変更可能になっている。この図は、まだ配達条件を指定していない場合を示している。

【0049】

図12は、配達条件の入力例である。配達条件の入力において、指定可能な選

択肢、例えば配達場所や運送業者の選択肢がプルダウンメニューで表示されるようにしておくと便利である。このフォームでは、未設定の項目を設定できるほか、既に設定されている項目を変更することもできる。

【0050】

図13は、運送業者への配達依頼の通知例である。配達条件として、配達日時、配達先情報として、氏名、住所、電話番号が記載されている。また、配達商品及び販売業者名も記載されている。

【0051】

<第2実施形態例>

(1) 構成

図14は、第2実施形態例にかかる配達管理システムの全体構成である。このシステムは、第1実施形態例の配達管理システムに、グループ管理部58を付加して構成されている。配達先は、世帯などの単位であらかじめグループを形成している。グループ管理部58は、グループの構成員の登録を配達先から受け付け、ユーザDB7に登録する。

【0052】

図15に示すように、ユーザDB7には「所属グループ」が蓄積されている点が、第1実施形態例のユーザDB7と異なっている。その他の蓄積されている情報は、前述と同様である。

【0053】

その他、図1と同一の符号を付した構成要件は、第1実施形態例と同様の機能を有する。

(2) 処理の流れ

本実施形態例においても、配達受付処理、入荷状況・配達状況の登録処理及び配達条件指定処理の流れは、第1実施形態例と同様である。これらの処理に加え、本システムは以下に述べる処理を行う。

【0054】

配達商品一覧の通知処理

図16は、配達商品一覧の通知処理の流れを示す説明図である。

配達先が管理サーバ4へWWWブラウザを用いてアクセスすると（#51）、配達先IDに基づいて配達先の認証が行われる。認証された場合、配達商品一覧表示部53のCGIプログラムが起動され、配達先IDが渡される（#52）。配達商品一覧表示部53はユーザDB7にアクセスし、配達先IDをキーとして、アクセス元配達先が属するグループの他の構成員の配達先IDを取得する（#53）。

【0055】

次いで、配達商品一覧表示部53は、配達情報DB8にアクセスし、グループ構成員の配達先IDをキーとして、当該グループに属する配達先に配達される予定の配達商品の一覧を取得する（#54）。これをHTML形式にフォーマットして（#55）、アクセス元配達先に送信する（#56）。

【0056】

（3）画面例

図17は、配達商品一覧を表示する画面例である。アクセス元の配達先への配達商品以外に、アクセス元配達先の属するグループ構成員に配達される予定の配達商品の一覧が表示されている。

【0057】

図18は、配達条件の入力例を示す。第1実施形態例と同様に、配達先はこれにより配達日、配達場所、配達業者などの配達条件を指定し、これが運送業者に通知される。この図では、配達日、配達場所、配達業者の未設定項目は、配達先ユーザ自身についてのみ設定変更可能となっている。なお、他のグループ構成員の設定項目については、基本的には変更不可能である。しかし、ニーズに応じて、他のグループ構成員の項目を変更可能に設定しても良い。

【0058】

以上述べたように、本実施形態例では、家族などの利用者グループ間で、複数の配達を一つの便にまとめることが可能となり、さらに効率良い配達が可能となる。

【0059】

<第3実施形態例>

(1) 構成

図 1 9 は、第 3 実施形態例にかかる配達管理システムの全体構成である。このシステムは、第 1 実施形態例の配達管理システムに、キャンセル受付部 5 9 及び購入権制御部 5 1 0 を付加して構成されている。その他の図 1 と同一の符号を付した構成要件は、第 1 実施形態例と同様の機能を有する。

【 0 0 6 0 】

キャンセル受付部 5 9 は、商品の注文のキャンセルを受け付ける。

購入権制御部 5 1 0 は、配達の申込に配達条件が指定された場合、その申込の I D で特定される商品が購入されたことを、販売業者クライアント 1 に通知する。

【 0 0 6 1 】

(2) 処理の流れ

本実施形態例においても、配達受付処理、入荷状況・配達状況の登録処理、及び配達商品一覧の通知処理の流れは、第 1 実施形態例と同様である。これらの処理に加え、本システムは、以下に述べる配達条件指定処理及びキャンセル処理を行う。

【 0 0 6 2 】

(2-1) 配達条件指定処理

図 2 0 は、H T T P サーバ 5 が行う配達条件指定処理の流れを示す説明図である。配達条件の指定を配達情報 D B 8 に書き込み（＃ 6 1 ～＃ 6 3）、配達先情報とともに運送業者クライアント 2 に送信する処理（＃ 6 4 ～＃ 6 7）は、第 1 実施形態例と同様である。

【 0 0 6 3 】

さらに、配達条件受付部 5 2 は、購入権制御部 5 1 0 の C G I プログラムを呼び出し、購入指示を渡す（＃ 6 8）。この指示には、配達条件が設定された商品特定するための申込 I D 及び商品名が含まれている。

【 0 0 6 4 】

購入権制御部 5 1 0 は、電子メールサーバ 6 にアクセスし、申込 I D 及び商品名を含む購入指示の通知を、販売業者クライアント 1 に送信する（＃ 6 9、＃ 6

10)。この通知を受け取った販売業者は、配達先に対して商品代金を請求する決済処理を行う。

【0065】

この処理により、注文した商品代の支払時期と商品の配達時期とのずれを短くすることができる。また、商品の注文者は、商品が実際に配送可能になるまで商品の代金の支払いを先延ばしにすることができる。

【0066】

(2-2) キャンセル処理

図21は、HTTPサーバ5が行うキャンセル処理の流れを示す説明図である。

【0067】

本例では、配達条件を入力するフォームにおいて、配達の手続きをキャンセルすることができる(後述する図22)。HTTPサーバ5は、申込のキャンセルを受け取ると(#71)、キャンセル受付部59のCGIプログラムを呼び出す(#72)。キャンセル受付部59は、配達情報DB8にアクセスし、キャンセルされた申込のエントリを削除する(#73)。HTTPサーバ5は、購入権制御部510のCGIプログラムを呼び出し、申込のキャンセル指示を渡す(#74)。この指示には、キャンセルされた申込のIDが含まれている。購入権制御部510は、電子メールサーバ6にアクセスし、申込にかかる商品の注文がキャンセルされた通知を販売業者クライアント1に送信する(#75、#76)。

【0068】

以上の処理により、商品の注文者は、代金を支払う前に他のより良い商品を見つけた場合、最低限のコストと手間ですり替えが可能になる。販売業者は、キャンセルに対するペナルティを、キャンセル代などの形で配達先から徴収しても良い。

【0069】

(3) 画面例

図22は、配達先が配達条件及びキャンセルを指定する画面例を示す。配達先が「キャンセル」のフィールドにチェックすることにより、商品の購入をキャン

セルすることができる。

【0070】

＜第4実施形態例＞

（1）構成

図23は、第4実施形態例にかかる配達管理システムの全体構成である。このシステムは、第1実施形態例の配達管理システムに、決済部511及び運送業者DB9を付加して構成されている。また、配達情報DB8には送料負担フィールドが設けられている（図示せず）。ユーザDB7には、クレジットカード情報のフィールドが設けられている（図示せず）。図1と同一の符号を付した他の構成要件は、第1実施形態例と同様の機能を有する。

【0071】

運送業者DB9は、本システムと運送業者とにより共有されており、運送業者により更新可能である。なお、このDBは、運送業者毎に複数あっても良いし、運送業者が管理するサーバ上にあっても良い。このDBには、運送業者の運送スケジュールと、配達地域及び配達サービス種類に応じた料金のデータとが蓄積されている。

【0072】

決済部511は、送料を負担する側に対して送料を請求する決済処理を行う。決済処理のために、ユーザDB7に予めクレジットカード情報を蓄積しておく方が良い。

【0073】

（2）処理の流れ

このシステムは、第1実施形態例と同様に、入荷状況・配達状況の登録処理を行う。これらの処理に加え、本システムでは、以下の処理が行われる。

【0074】

（2-1）配達受付処理

HTTPサーバ5は、以下に述べる点を除き、第1実施形態例と同様に配達受付処理を行う（図示せず）。販売業者クライアント1は、HTTPサーバ5にアクセスし、配達申込を送信する（後述する図27参照）。この申込には、第1実

施形態例で述べた内容に加え、配達先 I D と依頼元 I D とが異なる場合、どちらが送料を負担するかも入力される。

【 0 0 7 5 】

配達申込受付部 5 1 は、受け取った入力内容から配達商品情報を作成する。図 2 5 は、配達商品情報の概念説明図である。配達先 I D、依頼元 I D、販売元、配達品、申込 I D に加え、送料負担先が含まれている。配達申込受付部 5 1 は、配達情報 D B 8 にアクセスし、これらの配達商品情報を書き込む。

【 0 0 7 6 】

(2 - 2) 配達商品一覧の通知処理

図 2 4 は、H T T P サーバ 5 が行う配達商品一覧の通知処理の流れを示す説明図である。

【 0 0 7 7 】

配達先が管理サーバ 4 に W W W ブラウザでアクセスすると (# 8 1)、H T T P サーバ 5 は配達先 I D などに基づいて配達先の認証を行う。認証した場合、配達商品一覧表示部 5 3 の C G I プログラムが起動される (# 8 2)。配達商品一覧表示部 5 3 は、まず配達情報 D B 8 にアクセスし、配達先 I D をキーとして、アクセス元配達先への配達商品の一覧及びそれらの配達情報を取得する (# 8 3)

。

【 0 0 7 8 】

さらに、配達商品一覧表示部 5 3 は、配達情報をキーとして運送業者 D B 9 を検索する。例えば、配達場所や配達日などをキーに、運送業者のスケジュールを検索する。そして、配達商品を配達可能な運送業者のリストとその配達料金とを取得する (# 8 4)。

【 0 0 7 9 】

配達商品一覧表示部 5 3 は、取得した情報を HTML 形式にフォーマットし、配達先に電子メールで送信する (# 8 5、# 8 6)。配達先には、送料や配達サービスを含むフォームが表示される (後述する図 2 8)。

【 0 0 8 0 】

(2 - 2) 配達条件指定処理

図 2 6 は、H T T P サーバ 5 が行う配達条件指定処理の流れを示す説明図である。

【 0 0 8 1 】

H T T P サーバ 5 は前記フォームに入力された配達条件の指定を受け取り（# 9 1）、配達条件受付部 5 2 の C G I プログラムを呼び出す（# 9 2）。配達条件受付部 5 2 は、第 1 実施形態例と同様に、配達条件の書き込み（# 9 3）、配達条件の通知（# 9 4）を行う。これにより、配達先情報が、運送業者クライアント 2 に対して電子メールで送信される（# 9 5、# 9 6、# 9 7）。

【 0 0 8 2 】

さらに、配達条件受付部 5 2 は、決済部 5 1 1 に決済指示を渡す（# 9 8）。言い換えれば、送料を負担する側から送料を引き落とすよう、決済部 5 1 1 に指示する。決済部 5 1 1 は、ユーザ D B 7 にアクセスし、依頼元負担であれば依頼元 I D をキーとし、配達先負担なら配達先 I D をキーとして、送料の決済に用いるクレジットカード番号を取得する（# 9 9）。決済部 5 1 1 は、決済処理を行うとともに、電子メールサーバ 6 にアクセスし（# 1 0 0）、決済通知のメールを対象者のクライアントに送信する（# 1 0 1）。

【 0 0 8 3 】

以上の処理により、従来の画一的な送料でなく、配達条件に応じた適正な送料を徴収することができる。また、配達先のスケジュールと、運送業者とのスケジュールとを合致させて配達条件を決定することが可能となる。運送業者は、ひとつの配送トラックに配送をまとめるほど送料をディスカウントするなどのサービスを実施しても良い。

【 0 0 8 4 】

（ 3 ） 画面例

図 2 7 は、販売業者が配達を申し込むための入力画面例である。第 1 実施形態例と異なり、送料負担を入力することができる。

【 0 0 8 5 】

図 2 8 は、配達先で表示される配達条件の入力例である。配達日や希望するサービス種類などの配達条件を満たす配達が可能な運送業者のみがプルダウンメニ

ユーに表示される。サービス種類とは、例えば特別に急ぐ場合、大きな荷物の場合、冷蔵車での配達などを挙げることができる。また、選択した配達条件によって、送料が表示される。配達先が払う現在の送料の合計も表示されるようになっている。なお、配達先と依頼元とが異なり、依頼元が送料を負担する場合、送料は表示されるが合計には含まれないようにしたり、送料を表示しないようにすることができる。

【 0 0 8 6 】

<その他の実施形態例>

(A) 前述の実施形態例では、C G I プログラムを用いたが、同等の機能を実現する他の技術、例えばJ A V A サブレット等を用いても良い。また、電子メール以外の通信手段を用いて、配達申込の通知や配達依頼を行っても良い。

【 0 0 8 7 】

(B) 以上の実施形態例は、ニーズに応じ、適宜組み合わせることができる。

(C) 前述した本発明の方法を実行するプログラムを記録した記録媒体は、本発明に含まれる。ここで記録媒体としては、コンピュータが読み書き可能なフロッピーディスク、ハードディスク、半導体メモリ、C D - R O M 、 D V D 、光磁気ディスク (M O) 、その他のものが挙げられる。

【 0 0 8 8 】

<付記>

(付記 1)

注文された商品の配達を管理する方法であって、
 前記商品の配達の申込を前記商品の提供者から受け付け、
 前記申込に申込 I D を付与し、
 前記商品の配達先に、前記申込 I D を通知して配達条件の指定を促し、
 前記配達先に配達される予定の商品及び前記申込 I D の一覧を、前記配達先に提供し、
 前記申込 I D で特定される申込に対する配達条件の指定を、前記商品の注文よりも後に、前記配達先から受け付け、
 同一の配達条件を指定された申込 I D に対応する商品と、指定された配達条件

と、配達先とを、所定の運送業者に通知することにより配達を依頼する、
配達管理方法。

【 0 0 8 9 】

(付記 2)

前記配達先からグループの形成及びグループの構成員の指定を受け付け、
前記商品及び申込 I D の一覧を配達先に通知する場合、配達先が属するグループの他の構成員へ配達予定の商品及び申込 I D の一覧も併せて通知する、
付記 1 に記載の配達管理方法。

【 0 0 9 0 】

例えば、同一世帯のメンバーで 1 つのグループを形成する。グループのいずれかが配達予定の商品リストを見ようとする、他のメンバーに配達される予定の商品リストも同時に見ることができる。これにより、既に他のメンバーが配達条件を指定していれば、それと同じ配達条件を指定することにより、一世帯でまとめて商品を配達してもらうことができる。

【 0 0 9 1 】

(付記 3)

前記配達先に配達される予定の第 1 商品に第 1 配達条件が指定され、その後前記第 1 商品が配達される前に別の第 2 商品について第 2 配達条件が指定された場合、前記第 1 商品についての配達条件を第 1 配達条件から第 2 配達条件に変更する、付記 1 に記載の配達管理方法。

【 0 0 9 2 】

例えば、ユーザ A が商品 Q について、「2000/7/23 午前中」の配達を指定していたとする。その後、ユーザ A が別の商品を購入し、「2000/7/25」夜間の配達を指定したとする。通常、後で指定された条件が、ユーザの現在の都合にもっとも合っていると考えられる。そこで、商品 Q がまだ配達されていない場合は、商品 Q についても「2000/7/25 夜間」を配達条件に設定する。

【 0 0 9 3 】

(付記 4)

前記配達先に配達される予定の第 1 商品に第 1 配達条件が指定され、その後前

記第 1 商品が配達される前に別の第 2 商品の配達申込を受け付けた場合、前記第 2 商品についての配達条件を第 1 配達条件と同一の条件に設定する、付記 1 に記載の配達管理方法。

【 0 0 9 4 】

(付記 5)

前記配達先が前記商品の注文者である場合、前記申込 I D で特定される商品が購入されたことを、前記申込 I D で特定される申込に対する前記配達条件が指定された後に前記商品の提供者に通知する、付記 1 に記載の配達管理方法。

【 0 0 9 5 】

(付記 6)

前記配達先が前記商品の注文者である場合、前記申込 I D で特定される商品の注文がキャンセルされたことを、前記申込 I D で特定される申込がキャンセルされたことにより、前記商品の提供者に通知する、付記 5 に記載の配達管理方法。

【 0 0 9 6 】

商品注文後にもっと良い商品を見つけた場合、注文をキャンセルすることができる。

(付記 7)

注文された商品の配達を管理する装置であって、

前記商品の配達の申込を受け付ける受付手段と、

前記申込に申込 I D を付与する付与手段と、

前記商品の配達先に、前記申込 I D を通知して配達条件の指定を促す促進手段と、

前記配達先に配達される予定の商品及び前記申込 I D の一覧を、前記配達先に提供する提供手段と、

前記申込 I D で特定される申込に対する配達条件の指定を、前記商品の注文よりも後に、前記配達先から受け付ける指定手段と、

同一の配達条件を指定された申込 I D に対応する商品と、指定された配達条件と、配達先とを、所定の運送業者に通知することにより配達を依頼する依頼手段と、

を備える配達管理装置。

【 0 0 9 7 】

(付記 8)

複数の利用者端末と複数の配送業者端末及び複数の販売店端末がネットワークを介して接続された配送情報サービス装置に使用される配送情報サービス方法を実行するためのプログラムが記録された記録媒体であって、

販売店端末あるいは利用者端末を介して送信されてきた物品の配達依頼情報を受信する処理と、

当該受信した配達依頼情報を配達依頼情報記憶部に記憶する処理と、

当該受信した配達依頼情報の配達先と同一の配達先を有し、当該配達先への配送が完了していない配達依頼情報を前記配達依頼情報記憶部から抽出する処理と、

予め配達先に対応付けられて格納されている通知先アドレスの対応表から当該配達先の通知アドレスを取得して、当該受信した配達依頼情報と前記抽出した未配達の配達依頼情報とを配達希望日時等の希望条件の入力を促す情報とともに当該配達先の通知アドレスに通知する処理と、

当該配達先から返信されてきた配達希望条件に応じて、配送業者端末に対して当該配達先へ配達物品の配達を指示する情報を送信する処理と、

を実行するプログラムを記録した、コンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【 0 0 9 8 】

ここで記録媒体としては、コンピュータが読み書き可能なフロッピーディスク、ハードディスク、半導体メモリ、CD-ROM、DVD、光磁気ディスク(MO)、その他のものが挙げられる。

【 0 0 9 9 】

(付記 9)

物品の配達依頼を受け取り、受け取った配達依頼を記憶装置に記憶するとともに、前記記憶装置を検索して当該配達依頼の配達先と同一の配達先が指定された配達依頼であって配達先への配送が完了していない配達依頼を抽出し、予め配達先と通知アドレスとが対応付けられて格納されたアドレステーブルを参照して配

達先の通知アドレスを取得し、当該配達依頼と前記抽出した未配達の配達依頼とを当該配達先の通知アドレスに通知して、配達予定物品の受け取り可能日時などの希望条件の入力を促し、応答されてきた配達希望条件に基づいて、希望条件に指定されたあるいは希望条件に応じた配送業者に対して当該配達先へ配達予定物品の配送指示を行う、配送情報サービス方法。

【 0 1 0 0 】

【発明の効果】

本発明を用いれば、利用者は、商品が実際に届けられる前に配達されてくる予定の商品を知ることができ、複数の販売業者からの配達や複数の商品の配達を、ひとつの配達便もしくは同一時間帯に集中させて受け取ることが可能になり、配達料金と受け取りの手間を節約できる。また、家族などのグループ単位で同様にひとつの配達便もしくは同一時間帯に集中させて受け取ることも可能となる。しかも、配達条件を、配達の申込後に配達先のスケジュールの変更にあわせて指定することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

第 1 実施形態例にかかる配達管理システムの全体構成図。

【図 2】

図 1 のシステムにおける配達情報 DB に蓄積される情報の概念説明図。

【図 3】

図 1 のシステムにおけるユーザ DB に蓄積される情報の概念説明図。

【図 4】

配達申込受付処理の流れを示す説明図。

【図 5】

配達商品情報の説明図。

【図 6】

(a) 入荷状況の登録処理の流れを示す説明図。

(b) 配達状況の登録処理の流れを示す説明図。

【図 7】

配達商品一覧通知処理の流れを示す説明図。

【図 8】

配達条件指定処理の流れを示す説明図。

【図 9】

販売業者による配達申込の入力画面例。

【図 1 0】

配達先への配達申込の通知例。

【図 1 1】

配達商品一覧表示の画面例。

【図 1 2】

配達条件の入力例。

【図 1 3】

運送業者への配達依頼の通知例。

【図 1 4】

第 2 実施形態例にかかる配達管理システムの全体構成図。

【図 1 5】

図 1 4 のシステムにおけるユーザ DB に蓄積される情報の概念説明図。

【図 1 6】

図 1 4 のシステムにおける配達商品一覧通知処理の流れを示す説明図。

【図 1 7】

図 1 4 のシステムにおける配達商品一覧表示の画面例。

【図 1 8】

図 1 4 のシステムにおける配達条件の入力例。

【図 1 9】

第 3 実施形態例にかかる配達管理システムの全体構成図。

【図 2 0】

図 1 9 のシステムにおける配達条件指定処理の流れを示す説明図。

【図 2 1】

図 1 9 のシステムにおけるキャンセル処理の流れを示す説明図。

【図 2 2】

図 1 9 のシステムにおける配達条件及びキャンセル指定画面例。

【図 2 3】

第 4 実施形態例にかかる配達管理システムの全体構成図。

【図 2 4】

図 2 3 のシステムにおける配達商品一覧表示の画面例。

【図 2 5】

図 2 3 のシステムにおける配達物品情報の概念説明図。

【図 2 6】

図 2 3 のシステムにおける配達条件指定処理の流れを示す説明図。

【図 2 7】

図 2 3 のシステムにおける配達先への配達申込の入力例。

【図 2 8】

図 2 3 のシステムにおける配達条件の入力例。

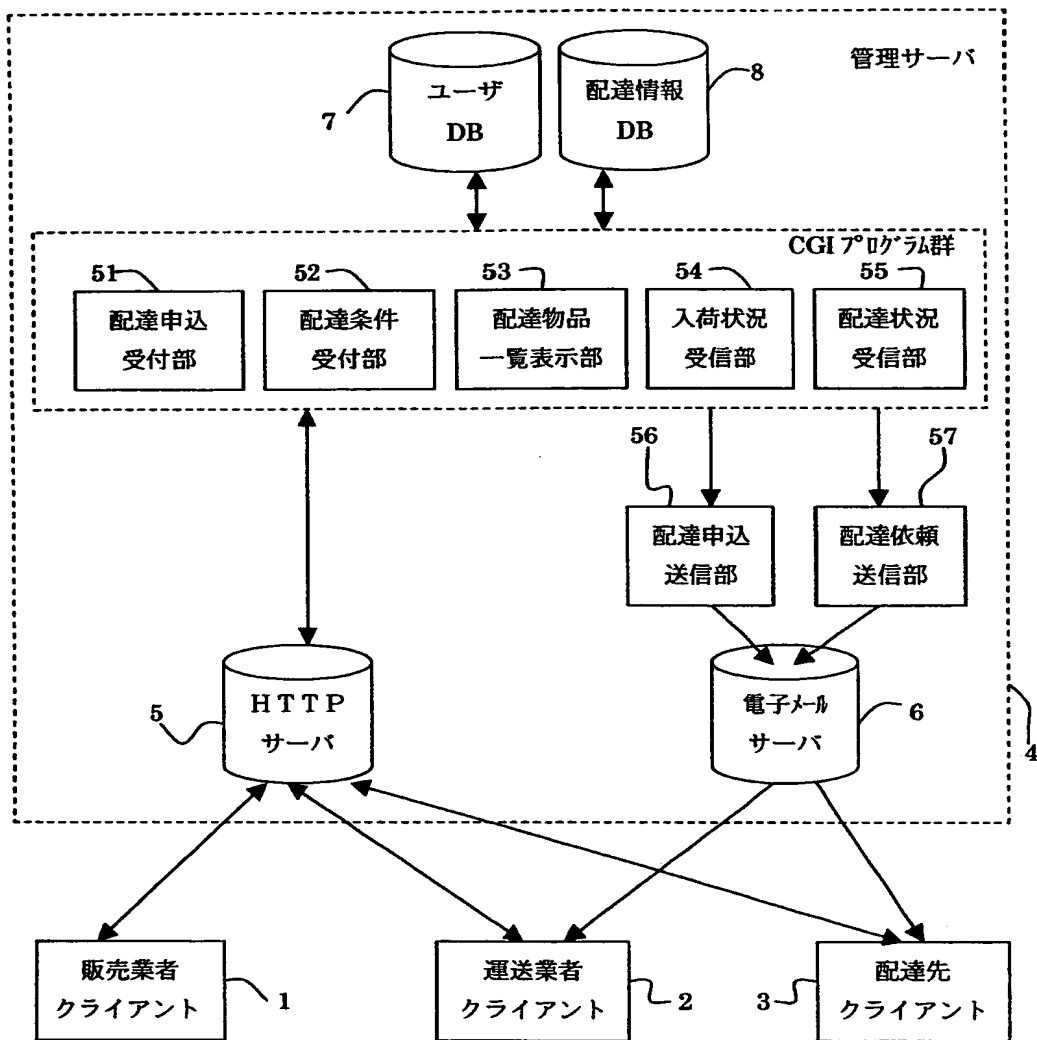
【符号の説明】

- 1 ; 販売者クライアント
- 2 ; 運送業者クライアント
- 3 ; 配達先クライアント
- 4 ; 管理サーバ

【書類名】 図面

【図 1】

第 1 実施形態例に係る配達管理システムの全体構成



【図 2】

配達情報データベースの構成

配達先 ID	依頼元 ID	販売者	配達品	配達日	配達 場所	運送業 者	申込 ID	入荷 状況	配達 状況
KXD012 34	KXD012 34	オレンジ 電化	冷蔵庫				3531 98	済	未
	KXX789 10	中丸 百貨店	ハム詰 め合せ				4890 36	未	未
KCA834 56	KCA834 56	チャス コ	学習机	2000 /03/29	自宅	テリヤ キ便	8711 23	済	配達 中
	KCA834 56	ビック カメラ	ビデオ デッキ				8857 29	済	未

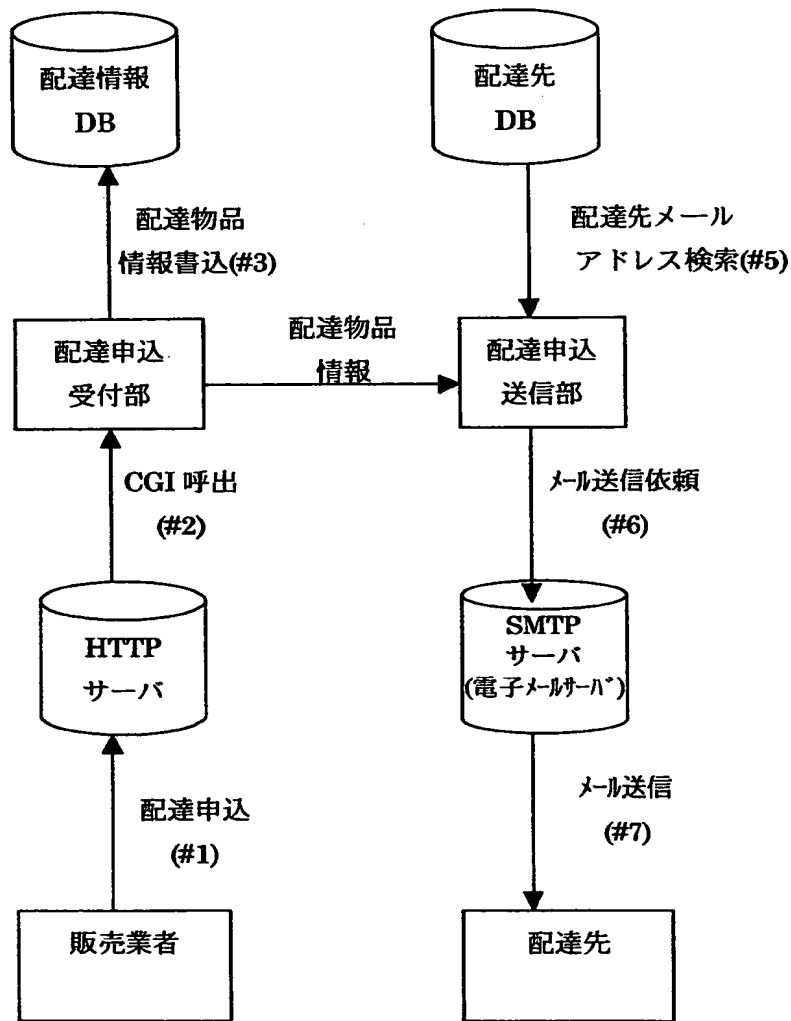
【図 3】

ユーザデータベースの構成

ユーザ ID	名前	配達 場所	住所	メールアド レス	電話番号
KXD01234	光岡 門	自宅	明石市鳥羽 1398-2 富士通西明石ハイツ	mitsu@nifty. com	078-123- 4567
		実家	埼玉県新座市西南 3-14-2		048-123- 4567
KCA83456	神田 陽 治	自宅	神戸市垂水区五色山 富士通五色山ハイツ	kouda@nifty. com	078-087- 4531

【図 4】

配達申込受付処理



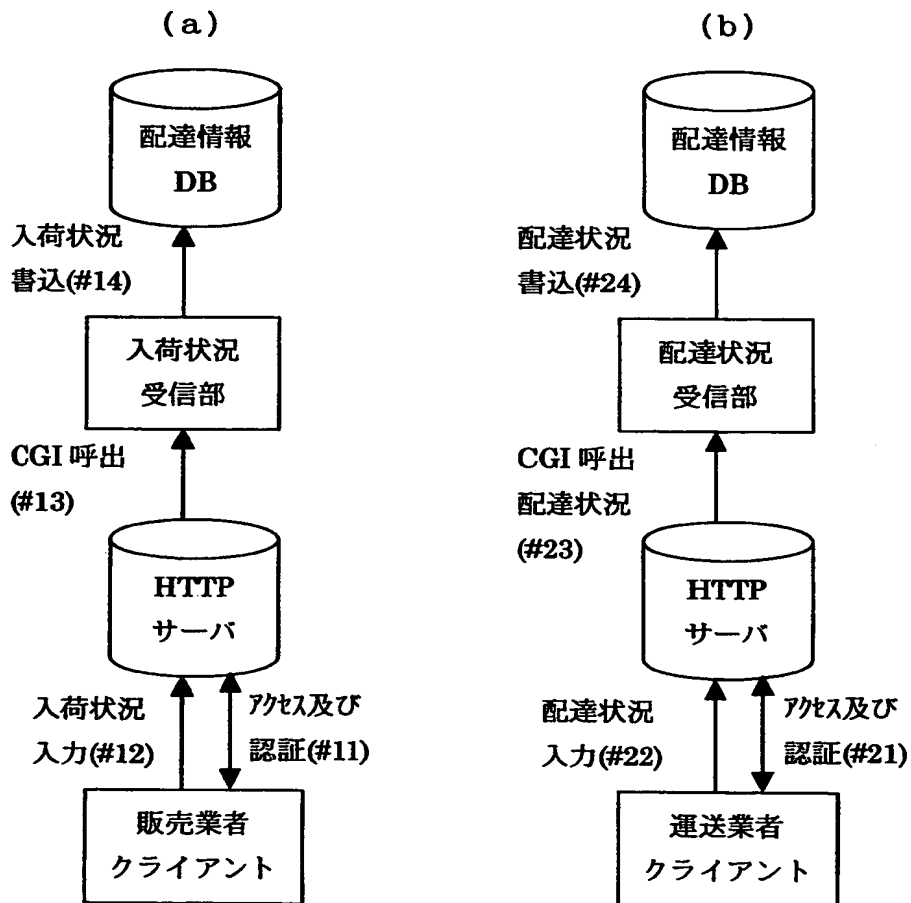
【図 5】

配達物品情報の構成

配達先 ID	依頼元 ID	販売元	配達品	申込 ID
KXD01234	KXD01234	オレンジ電化	洗濯機	357432

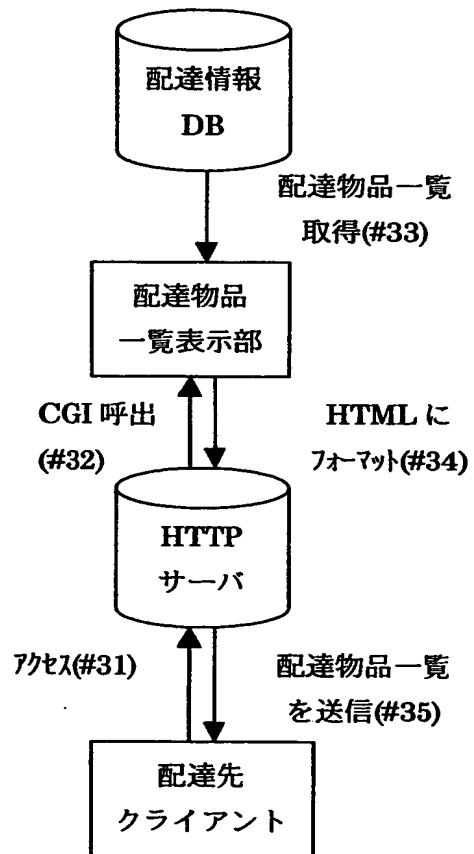
【図 6】

入荷状況・配達状況の登録



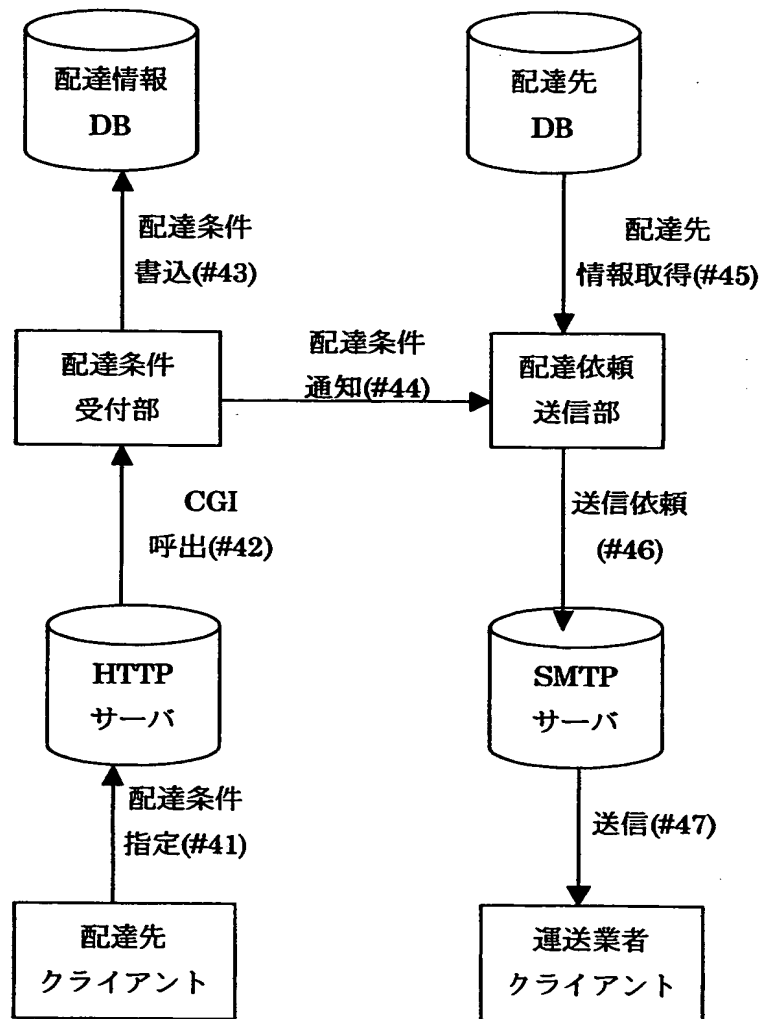
【図 7】

配達物品一覧の通知処理



【図 8】

配達条件指定処理



【図9】

販売業者による配達申込の入力

配達希望入力	
販売元:	オレンジ電化
配達先 ID:	<input type="text"/>
依頼元 ID:	<input type="text"/>
配達品:	<input type="text"/>
申込 ID:	3567432

【図10】

配達先への配達申込の通知

From: delivery@nifty.com
To: mitsu@nifty.com
光岡 円様
オレンジ電化から次の品物の配達希望が届いております。
申込 ID: 3567432 洗濯機
http://delivery.nifty.com/id=kxd01234 にアクセスして、 配送日時・場所・業者をご指定ください。

【図11】

配達商品一覧表示画面

光岡様への配達物品一覧								
依頼元	販売元	配達品	配達日	配達場所	運送業者	申込ID	入荷状況	配達状況
光岡 円	オレンジ電化	洗濯機				357432	済	未
光岡 円	オレンジ電化	冷蔵庫				353198	済	未
藤 通	中丸百貨店	ハム詰め合せ				489036	済	未

決定

【図12】

配達条件の入力例

光岡様への配達物品一覧								
依頼元	販売元	配達品	配達日	配達場所	運送業者	申込ID	入荷状況	配達状況
光岡 円	オレンジ電化	洗濯機	2000/4/1 AM	自宅	ナマコ運輸	357432	済	未
光岡 円	オレンジ電化	冷蔵庫	2000/4/1 AM	自宅	ナマコ運輸	353198	済	未
藤 通	中丸百貨店	ハム詰め合せ	2000/4/1 AM	自宅	ナマコ運輸	489036	済	未

決定

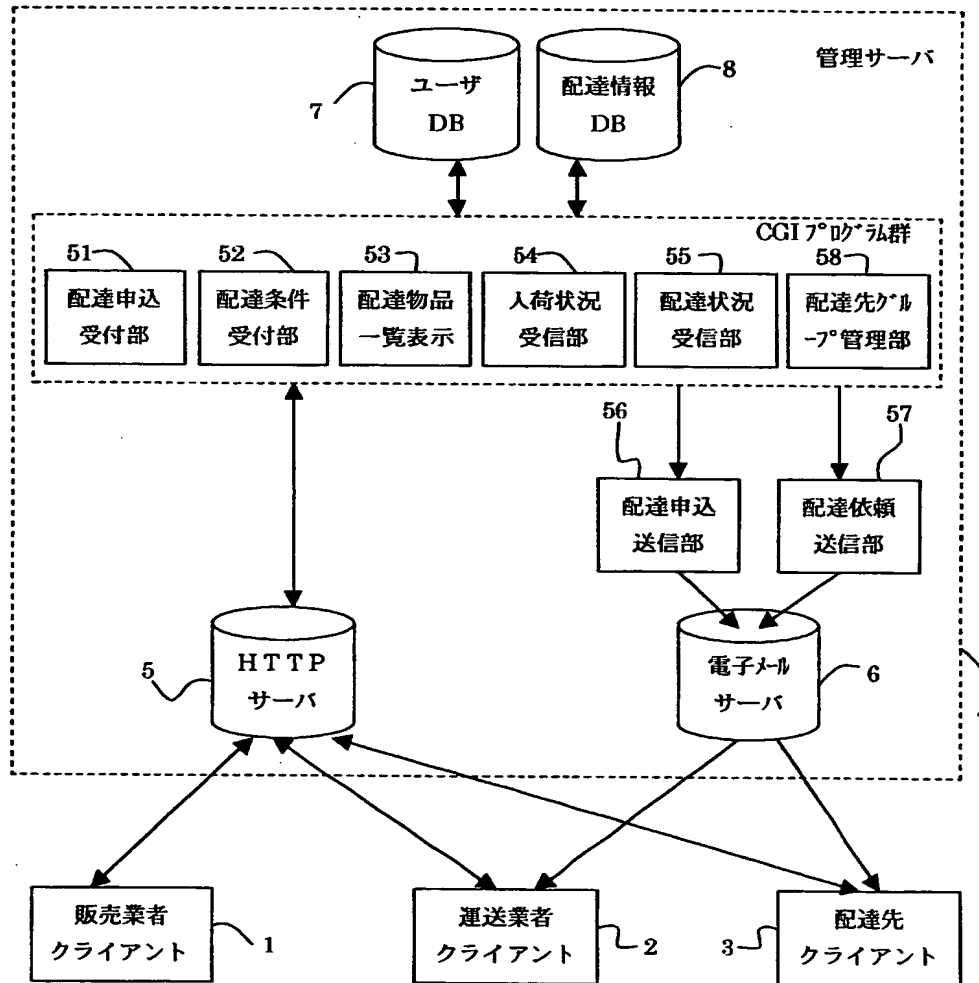
【図 1 3】

運送業者への配達依頼の通知

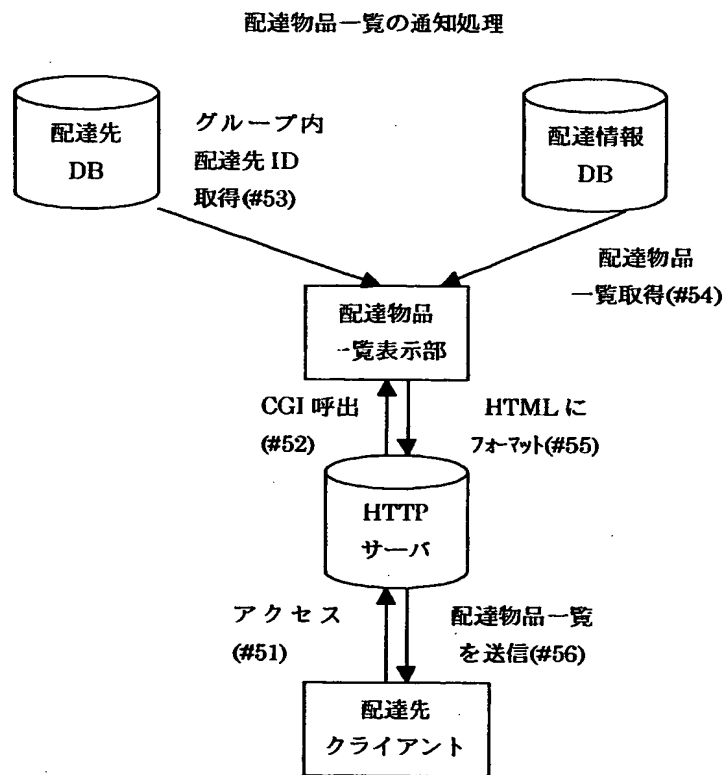
From: delivery@nifty.com
To: staff@namako.co.jp
ナマコ運輸様
次の品物の配達を依頼いたします。
配達元：オレンジ電化 西明石店
配達先：光岡 円様
住所：明石市島羽 1398-2 西明石ハイツ
電話番号：078-123-4567
配達品：洗濯機
配達日時：2000/04/01 AM

【図 1 4】

第 2 実施形態例に係る配達管理システムの全体構成



【図 16】



【図 17】

配達物品一覧表示画面

藤 様への配達物品一覧						
配達先	販売元	配達品	配達日	配達場所	運送業者	申込 ID
藤 通	オレンジ 電化	パソコン				357432
藤 通子	華信 百貨店	CD	2000/ 04/01	自宅	サマコ 運輸	353198
藤 研	CD Future	CD	2000/ 04/01	自宅	サマコ 運輸	489036

決定

【図 18】

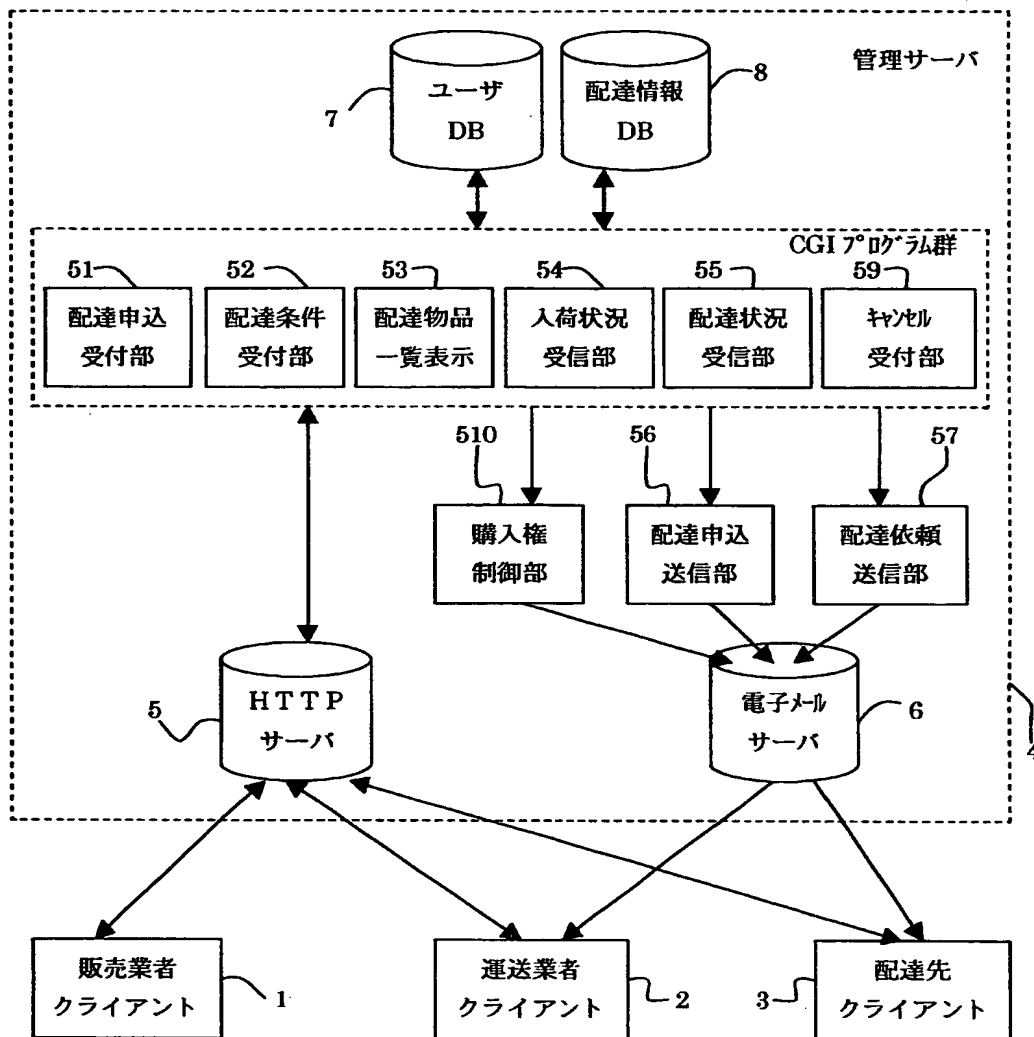
条件の入力例

藤 様への配達物品一覧						
配達先	販売元	配達品	配達日	配達場所	運送業者	申込 ID
藤 通	オレンジ 電化	パソコン	2000/ 04/01	自宅	ナマコ 運輸	357432
藤 透子	半信 百貨店	ソファ	2000/ 04/01	自宅	ナマコ 運輸	853198
藤 研	CD Future	CD	2000/ 04/01	自宅	ナマコ 運輸	489036

決定

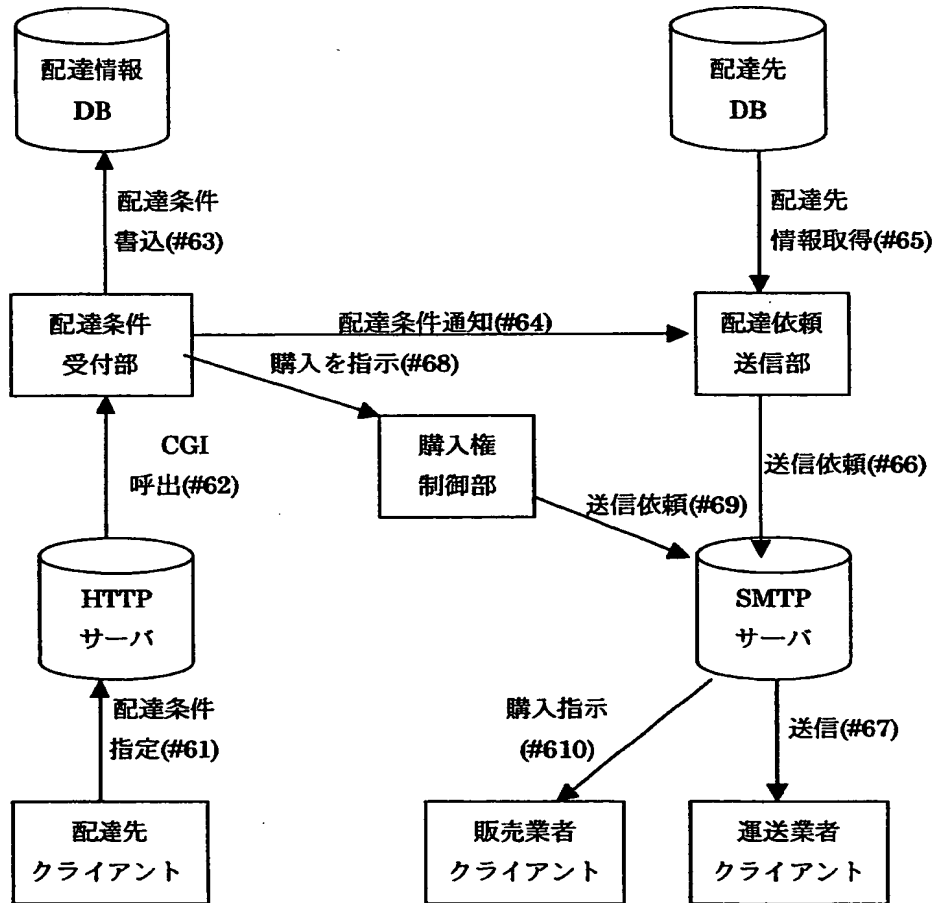
【図 19】

第3実施形態例に係る配達管理システムの全体構



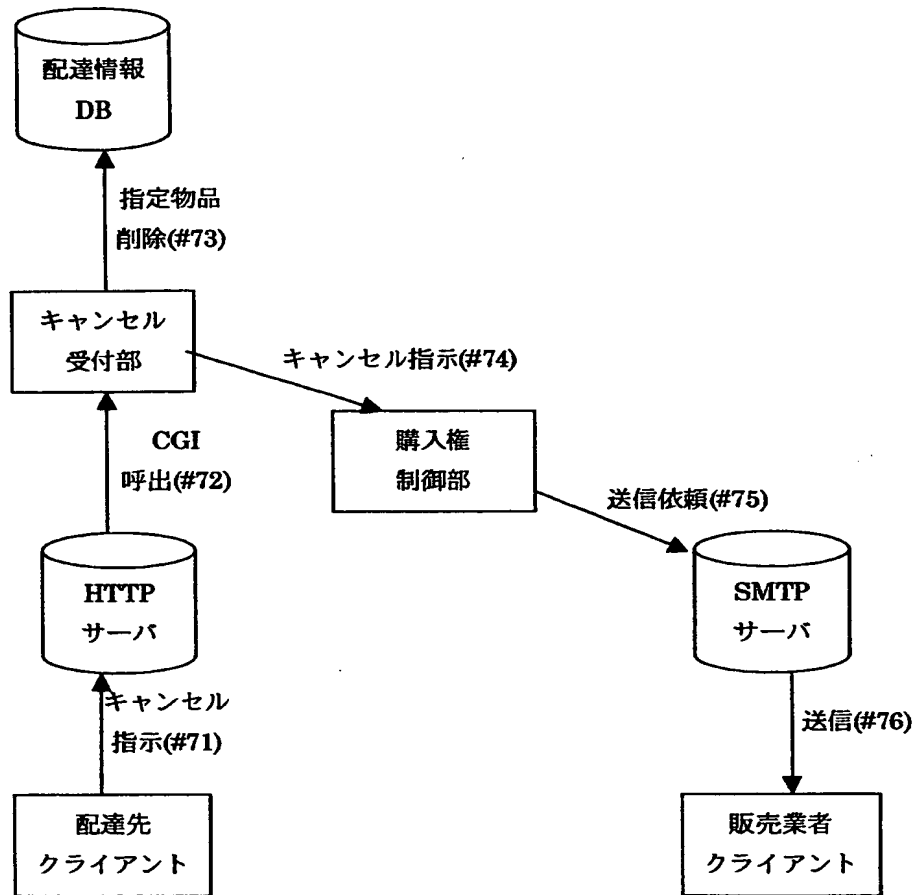
【図 20】

配達条件指定処理



【図 2 1】

キャンセル処理



【図 2 2】

配達条件及びキャンセル指定画面

キャンセル商品の選択

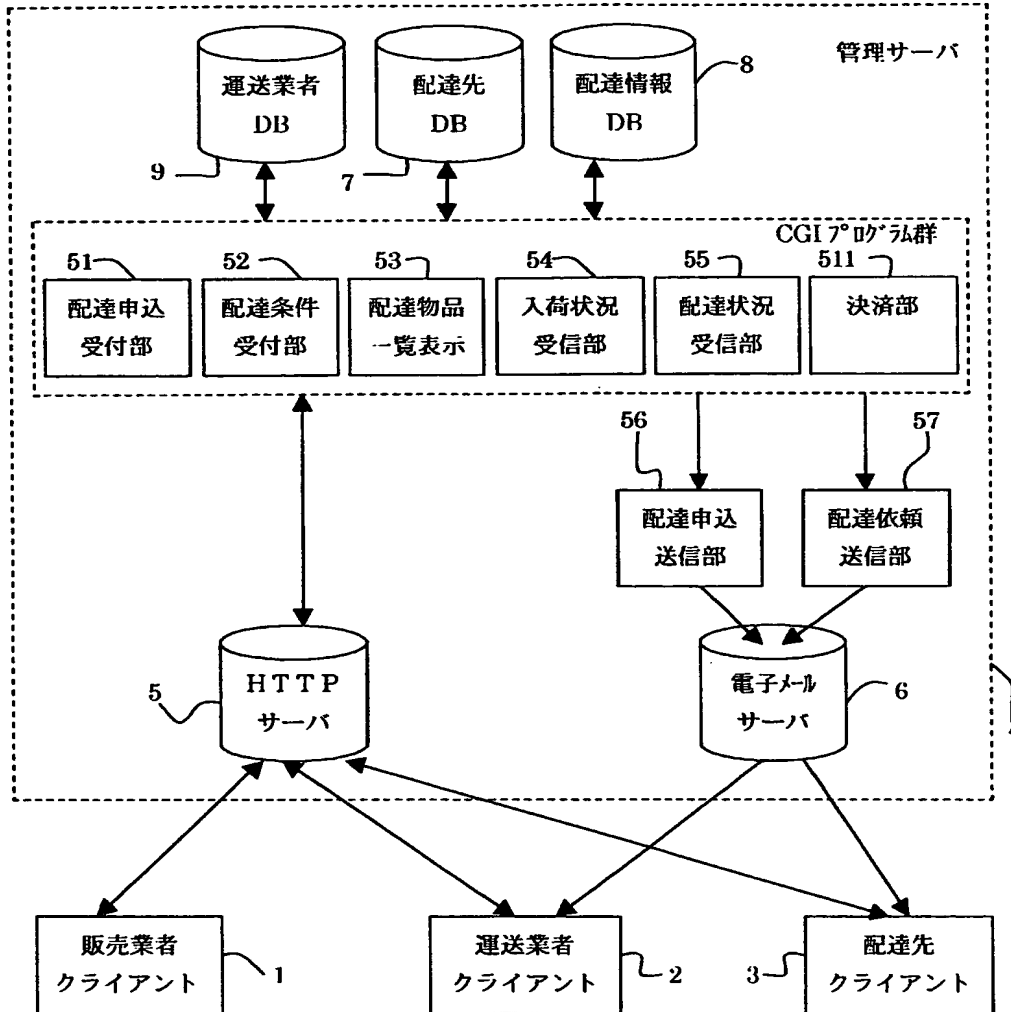
キャンセルする商品をチェックしてください。

配達先	販売元	配達品	配達日	配達 場所	運送 業者	申込 ID	キャン セル
光岡 円	オレンジ 電化	洗濯機				3574 32	<input checked="" type="checkbox"/>
光岡 円	オレンジ 電化	冷蔵庫				3531 98	<input checked="" type="checkbox"/>
藤 通	中丸 百貨店	ハム 詰め合せ				4890 36	<input checked="" type="checkbox"/>

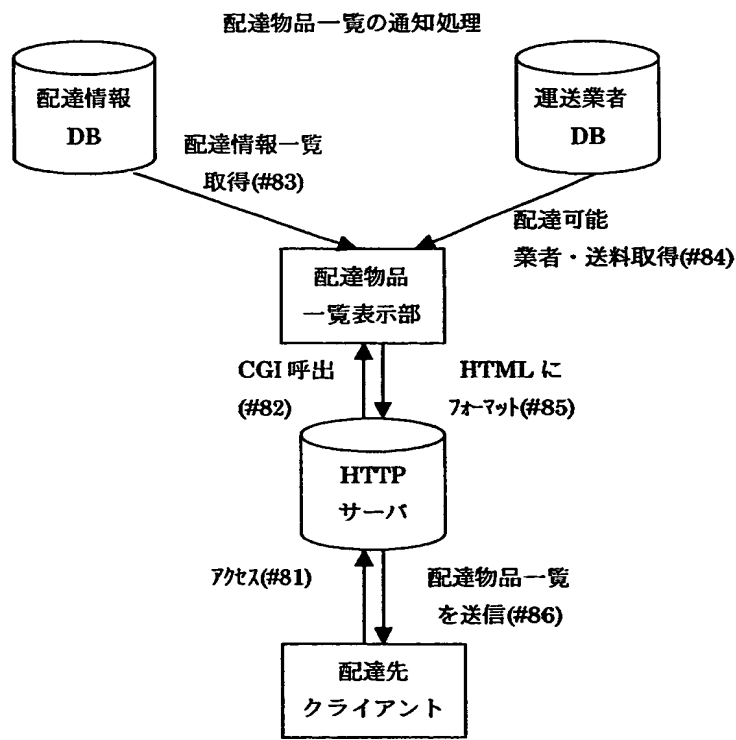
決定

【図 2 3】

第 4 実施形態例に係る配達管理システムの全体構成



【図 2 4】

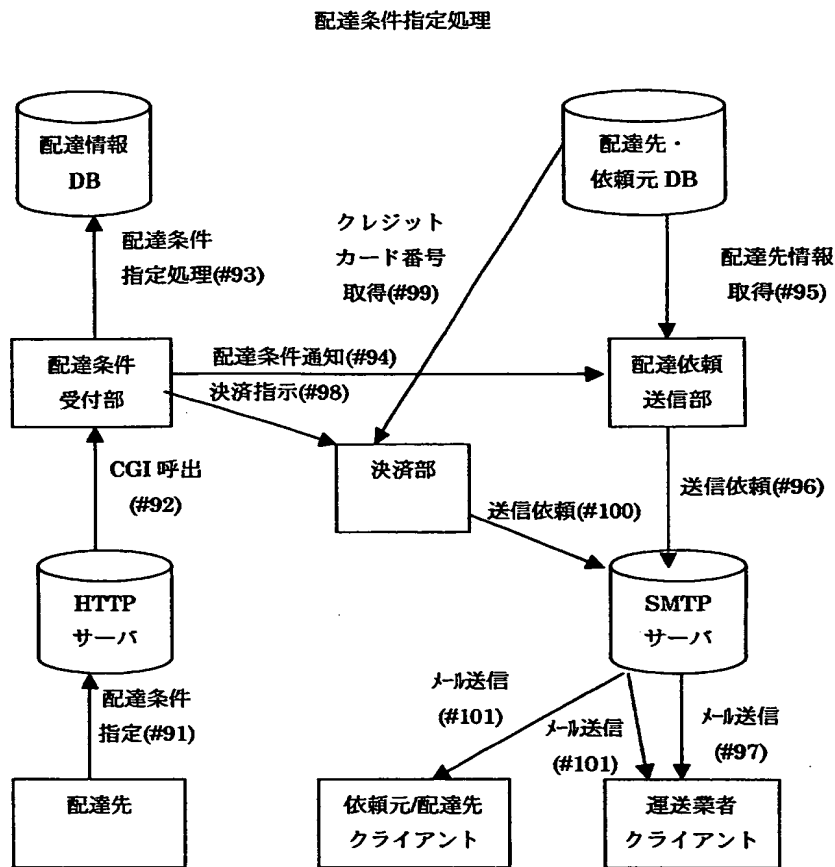


【図 2 5】

配達物品情報の構成

配達先 ID	依頼元 ID	販売元	配達品	申込 ID	送料負担
KXD01234	LMF87645	中丸百貨店	ハム詰め合わせ	489036	依頼元

【図 26】



【図 27】

配達元による配達物品情報の入力

配達希望入力

販売元：オレンジ電化

配達先 ID：

依頼元 ID：

配達品：

送料負担：☐ 配達先 ☐ 依頼元

配達品 ID：3567432

【図 28】

配達条件の入力例

光岡様への配達物品一覧								
依頼元	配達元	配達品	配達日	配達場所	運送業者	配達品 ID	サービス種類	送料
光岡円	オレンジ電化	洗濯機	2000/4/1 AM	自宅	ナマコ運輸	357432	普通	1500
光岡円	オレンジ電化	冷蔵庫	2000/4/1 AM	自宅	ナマコ運輸	353198	普通	上に含む
藤通	中丸百貨店	ハム詰め合せ	2000/4/1 AM	自宅	ナマコ運輸	489036	特急	700

決定

ナマコ運輸
 ハリカ便
 特急

計 1500 円

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 商品の配達を効率化し、配達先の都合にあった配達を行う。

【解決手段】 ユーザ（配達先 3）が販売業者から商品を購入し、配達を申し込むと、管理サーバ 4 は販売業者 1 から配達の手続きを受け付ける。管理サーバ 4 は、配達先 3 に配達の手続きを通知し、配達条件の指定を促す。例えば配達条件の指定フォームをウェブページ上で提供し、配達の手続き通知に前記ウェブページの URL を記載する。配達先 3 は、ウェブページにアクセスし、自分に配達される商品の一覧を参照できる。また、自分のスケジュールがはっきりした段階で配達条件を指定する。この条件は、運送業者に通知される。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日 1996年 3月26日

[変更理由] 住所変更

住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

氏 名 富士通株式会社